



八千代町地震防災マップ (地域危険度マップ)

このマップについて

このマップは、発生が想定されている地震での揺れの大きさ(裏面の「揺れやすさマップ」を参照してください)と建物の分布状況や構造(木造・非木造)、建築年代から計算した建物の全壊率を示した図です。なお、建物の無い区域や全壊する建物が無いという計算結果が出た区域には着色をしていません。計算は、約50m四方の「メッシュ」を単位として行っています。ご自宅の周辺や普段からよく行かれる場所などについて、建物の全壊率を確認してください。

危険度の区分

危険度	建物全壊率
1	~3%
2	3~5%
3	5~7%
4	7~10%
5	10~20%
6	20~30%
該当なし	30%~

八千代町AED設置登録施設一覧

番号	施設名称	住所	電話番号	設置場所
1	役場	菅谷1170	48-1111	町民ホール
2	保健センター	菅谷1033	48-1955	ホール
3	中央公民館	菅谷1027	48-1515	大ホール入口
4	総合体育館	菅谷1027	48-2468	入口ホール
5	図書館	菅谷681-1	48-4646	東出入口
6	県立八千代高等学校	平塚4824-2	48-1836	1F体育教官室
7	八千代第一中学校	若1808	48-0178	管理棟1階廊下校長室前
8	東中学校	沼森50	48-0787	管理棟1階廊下校長室前
9	西善田小学校	太田365	48-0687	管理棟1階、来客用玄関
10	安野小学校	旗田820	48-0024	管理棟1階来客用玄関
11	中結城小学校	菅谷351	48-0322	管理棟1階廊下職員室前
12	下結城小学校	平塚3740	48-0019	管理棟1階昇降口
13	川西小学校	久下田440	48-0039	1階職員玄関
14	西善田支店	沼森326	49-1551	1F事務所
15	安野支店	旗田737	48-0187	1F事務所
16	中結城支店	瀬戸井1154-1	48-0036	1F事務所
17	下結城支店	平塚3486	48-0036	1F事務所
18	川西支店	久下田234-1	48-0639	1F事務所
19	八千代青果センター	太田841	48-2890	1F事務所
20	農産物八千代直売所	若1306	30-3011	1F事務所

臨時ヘリポート一覧

番号	施設名称	住所
1	八千代第一中学校	若1808
2	八千代町民公園	菅谷883-1
3	栗野運動公園	栗野291-2
4	東路田運動公園	東路田241-1
5	貝谷運動公園	貝谷37
6	中結城地区公園	菅谷35

日頃からの備え

- ◆災害時の避難場所を確認
災害時に一時的に避難する場所・自宅が被害を受けた場合などに、ある程度の期間を過ごす避難場所を確認しておきましょう。また、避難場所までの経路について、危険な場所が無いが確認しましょう。
- ◆災害時持出品の準備
チェックリストを参考に、非常時持出品を準備しておきましょう。使用期限のあるもの(非常食、飲料水、電池、薬品など)を中心に、定期的に確認しましょう。
- ◆家具の固定など、自宅の安全対策
震度5強~6強程度の地震となると、住宅自体が倒壊しない場合であっても、重い家具が倒れたり、ガラスが割れるなどの被害が出るのが想定されます。家具を金具などで固定したり、窓ガラスに飛散防止フィルムを貼るなどの対策が効果的です。



マグニチュードと震度

地震の大きさについて、ニュースなどで報じられる場合、「マグニチュード〇〇」や「震度〇強」といった言葉を耳にしますが、これらの用語については、以下に示すような定義があります。

- ◆「マグニチュード」は「地震のエネルギーの大きさ」を数値で表したものです。
- ◆「震度」は「ある地点での揺れの程度(大きさ)」を数値で表したものです。
- ◆ある地震に対して「マグニチュード」は1つですが、「震度」は場所によって異なります。
- ◆ある地点の揺れ(震度)は、「マグニチュード」だけでなく「震源からその地点までの距離」「震源の深さ」「その地点周辺の地盤条件」などに左右されるものであり、マグニチュードの値が同じであっても、震源が遠ければ震度は小さく、逆に近ければ震度は大きくなります。同様に震源が深ければ震度は小さく、逆に浅ければ震度は大きくなります。

地震発生時の行動のポイント

地震発生	最初の大きな揺れは1分間 ●まず、身を守る 机の下などへ、あわてて外に飛び出さない ●脱出口を確認する ドア、窓を開ける	
1~2分	揺れが収まったら、まず火の始末 ●火元を確認する 火が出たら落ち着いて初期消火。 ●家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。 ●靴をはく 室内に散らしたガラスの破片などから足を守る。	
3分	隣近所の安全確認、火災の発生を防ぐ ●隣近所に声をかける けが人・行方不明者の確認、救出・救護。 ●近所に火が出ていたら初期消火 大声で知らせる 消火器を使う パケツリレーをする(風呂に水をためておく)	
5分	ラジオなどで正しい情報を入手 ●正しい情報をつかむ ラジオや可変機、自主防災組織の情報を聞く。 ●電話はなるべく使わない 緊急連絡電話が優先。 安否確認は「災害用伝言ダイヤル1717」で。 ●家屋倒壊などの危険があれば避難 避難するときはガス栓を閉め、ブレーカーを落とす。	
数時間	協力して消火、救出・救護活動 ●水・食料を家から持ち出す。 ●壊れた家には入らない 無理をして、二次災害を起こしてはいけない。 ●災害情報・被害情報の収集	
3日くらい		

全国どこでも起こりうる直下の地震を想定 (M6.9) (内閣府「地震防災マップ作成技術資料」より)

S=1/20,000
0 100 500 1,000

木造住宅耐震診断・耐震改修助成事業について

茨城県では、「木造住宅耐震診断・耐震改修助成事業」として、下記の事業が実施されています。

- 耐震診断助成事業
- 耐震補強設計助成事業
- 耐震改修助成

八千代町におきましても、耐震診断助成事業を実施しております。詳しくは、都市建設課 49-3945(直通)へ、お問い合わせください。

茨城県南部地震を想定 (M7.3)

S=1/50,000

